

2020年8月6日

各位

会社名 株式会社 デジタルホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 野内 敦  
(コード番号 2389 東証第一部)  
電話 03 - 5745 - 3611

### 業績予想に関するお知らせ

本日開催の取締役会において2020年5月13日に公表いたしました「2020年12月期第1四半期決算短信(連結)」において未定としておりました2020年12月期のマーケティング事業の業績予想および、2020年2月12日に公表いたしました「2019年12月期決算短信(連結)」における2020年12月期の本社管理コスト予想について、下記のとおりお知らせいたします。

記

#### 1. 2020年12月期マーケティング事業予想(2020年1月1日～12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	EBIT	EBITDA
前回発表予想(A)	未定	未定	未定
今回発表予想(B)	76,500 - 78,500	1,170 - 1,370	1,600 - 1,800
増減額(B-A)	-	-	-
増減率	-	-	-
(ご参考)前期実績(C) 2019年12月期実績(※)	83,347	2,615	3,435
前年比増減額(B-C)	△6,847 - △4,847	△1,445 - △1,245	△1,835 - △1,635
前年比増減率	△8.2% - △5.8%	△55.3% - △47.6%	△53.4% - △47.6%
(ご参考)2月12日公表 予想(D)	91,000	3,100	3,600
増減額(B-D)	△14,500 - △12,500	△1,930 - △1,730	△2,000 - △1,800
増減率	△15.9% - △13.7%	△62.3% - △55.8%	△55.6% - △50.0%

(補足1)

当社の事業は、マーケティング事業とシナジー投資事業の2つで構成されております。

マーケティング事業はインターネット広告事業を軸にデジタルマーケティング事業およびその関連サービス等の提供をしております。シナジー投資事業は、金融投資領域や新規事業開発等で構成されており、IPOマーケットの動向、上場株式の株価変動・売却タイミング等により業績の変動が大きく、連結業績予測を精度高く開示することは難しくなつ

ております。そのため、当社の業績予想にかかる損益開示は、マーケティング事業及び本社管理コストのみに留めております。

(補足2)

2020年度より指標の有用性向上を図るため EBITDA の定義を変更しております。なお、従前の定義による EBITDA は 2019年12月期通期 3,446百万円となります。

## 2. 2020年12月期本社管理コスト予想(2020年1月1日～12月31日)

(単位：百万円)

	販売費及び一般管理費
前回発表予想 (A)	2,200
今回修正予想 (B)	2,400
増減額 (B-A)	200
増減率	9.1%
(ご参考)前期実績(C) 2019年12月期実績	2,290
前年比増減額 (B-C)	110
前年比増減率	4.8%

## 3. 修正の背景

2020年12月期通期におけるマーケティング事業の業績予想につきましては、2020年5月13日に業績予想を合理的に見積もることが困難な状況にあるため未定とさせていただきますが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う特定業種における広告予算の縮小の動きは緩やかに回復するものの2020年7月以降も継続する見通しであることから、2020年12月期業績予想を前記のとおりといたします。

また本社管理コストについてオフィス環境の見直しによるフロア削減に伴う一時的な費用の発生が見込まれるため、前回予想の2,200百万円から9.1%増の2,400百万円に修正しております。

(注) 本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成しており、実際の決算数値と異なる可能性があります。

以上